

平成 29 年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：平成 29 年 9 月 22 日（金）午後 7 時～8 時 20 分

場 所：土師公民館

出席者：7 名

《フリートーク（意見交換）》

- 1 要望路線の進捗状況について
- 2 地域交流センターいわまの設備について
- 3 岩間保健センターで行っている健康診断の今後について
- 4 公共用地の利活用について
- 5 旧役場跡地の商工会事務所について
- 6 土師丁字路について
- 7 市役所で開催している相談業務について
- 8 牧場拡張に関する指導権限について
- 9 健康診断における職員の対応について
- 10 道路舗装における新制度について
- 11 原子力災害に伴う避難地域について
- 12 岩間駅東大通り線沿線の開発について

1 要望路線の進捗状況について

【意見等】

長年、道路改良の要望を出しているところがある。そこは通学路でもある。未買収の区間があるので、施工できないようである。現在はどのような状況か。

【回答】

ご質問の路線は、旧岩間町時代から整備しているところで国道 355 号バイパスに抜ける道路です。今年 130m の工事に入ります。それでも残り 450m あります。用地買収率は 55% で、残りの地権者は 5 人です。その内地元の方は 1 名で、他は県外に共住している方であるため用地交渉などに時間がかかっています。

市としては早期に国道 355 号バイパスまでつなげたいと思っています。買収できれば、順次工事を進めていきたいと思っています。

2 地域交流センターいわまの設備について

【意見等】

建設中の地域交流センターいわまに大きなお風呂は付いているのか。福祉センターの代替え施設としていると思っている。

【回答】

お風呂は付いていません。ハイカーのためのシャワー室は 3 か所作ります。

3 岩間保健センターで行っている健康診断の今後について

【意見等】

友部地区に地域医療センターかさまができるが、それに伴い岩間地区の保健センターが廃止となると、これから健康診断などはどのようなになるのか。

【回答】

健康診断は、あの施設で継続して実施していきます。乳幼児については、友部地区の地域医療センターかさまで行います。岩間保健センターの施設は、福祉の拠点にしようと考えています。

4 公共用地の利活用について

【意見等】

旧公民館の跡地は更地になったが、旧図書館の跡地はどうなるのか。

【回答】

岩間地区で一定の大きさの公共用地は、旧役場跡地と旧図書館があります。過去に検討委員会を作って4回程度開催しました。結果としては、建設中の地域交流センターいわまがどのような使われ方をするのか、それを見てから判断してもいいのではないかとということになりました。

旧役場跡地では、最近太極拳を行っているなど市民の皆さんの動きが出てきました。このように地域の方が、いろいろと考えてくれるといいですね。

5 旧役場跡地の商工会事務所について

【意見等】

商工会事務所は今後どうなるのか。

【回答】

事務所の建物をどうするのか商工会にお話ししています。商工会としての判断はまだ決定していません。市としては、市民センターいわまの1階事務室をお貸ししますと伝えていますが、ただ、官と民が同一スペースに入るとセキュリティーに課題があるのも事実です。

また、取り壊しとなると建物は商工会の持ち物ですのでコスト面から難しい部分もあります。取り壊せないならそのまま残す方がいいのではという意見もあって、商工会では結論が出ていません。

6 土師丁字路について

【意見等】

民生委員を務めているが、中学校との意見交換会が年1回行われている。その中で、土師の丁字路の件が毎回話題に出る。岩間駅方面から上押辺方面に自

転車で行くとすると丁字路内の通行帯が通行しづらい形状をしていて、非常に不便であるという内容である。

【回答】

丁字路の通行帯など通行に際し、課題があったというのは聞いています。その後のフォローを行っていないと思うので、県、警察と調整して、PTA 会長や中学校の校長に回答します。この件については、調べて回答します。

7 市役所で開催している相談業務について

【意見等】

市役所で無料法律相談をやっていると思う。以前相談に行ったら、「つまらない相談」と言われた。こちらは困っているのに相談に行ったが、ああいう態度では駄目だと感じる。市で何万円も払って実施していると思うが、相談に行っている人も少ないし大変失礼な言い方をしている。

【回答】

弁護士のいる法律相談や秘書課が行っている行政相談など何種類かの相談業務を行っていますが、市で実施しているというよりも国が行っている事業です。

市としては、開催する場所をお貸ししているという立場になります。そのような関わり方なので、もちろん市で委託料などは支払っていません。弁護士もいろいろな方がいると思いますが、次回来た時にお話ししておきます。

8 牧場拡張に関する指導権限について

【意見等】

この近くの牧場跡地で牛千頭を飼うという拡張事業が進んでいる。かなり大きな規模になるが、田園地帯なのでそこから出る排水が心配である。水処理などの指導は、県なのか市なのか。

【回答】

実施主体は A 農園で、県の監督下の事業で行っていますが、市も一緒になって協議会を立ち上げています。A 農園には、地域の皆さんに事業内容について説明をきちんとするように指導しています。ただ、糞尿処理しても全くにおいが出ないというわけにはいかないと思いますが、緩和措置についても指導しています。

9 健康診断における職員の対応について

【意見等】

健康診断に行くと私たちはいろいろと病院の先生に聞きたいことがある。しかし、一緒に来ている市の職員は、我々市民ではなく先生に気を遣っていて、まだまだ聞きたいことがあるのに、終了予定時間になったら質問を打ち切って

しまう。本来は市民のために行っているのではないか。

【回答】

ケースバイケースだと思います。医師の中にも、定刻の時間が過ぎても対応していただける方もいらっしゃいますし、そうでない方もいると思います。

市としては、主旨を大切にすべきですが、先生の意向も考えていかなければなりません。ご理解のほどお願いします。

10 道路舗装における新制度について

【意見等】

法定外道路に面している住宅がある。その道路は舗装できないと聞いている。同じ税金を払っているのにおかしいという声もある。

【回答】

今年から、制度を新設しました。今までは幅員が4m以上でないと舗装はしませんでした。既存の家が連たんしているなど、一定の基準を満たしていれば、4m未満でも舗装ができるようにしました。

新制度については、市街地など一定の基準を満たさないといけませんので、管理課でご相談ください。

11 原子力災害に伴う避難地域について

【意見等】

原子力災害が起きたとき避難しなければならない地域として、原発から30km圏内がUPZとして指定された。30km圏内ぎりぎりの地区はどうなるのか。

【回答】

市としては、30km圏内で避難する地域、避難しない地域の線を引くことはできないので、30km圏内に入った地区は全戸指定するという考え方に立って避難計画を立てています。

計画ができましたら皆さんにお知らせして、地区の代表者で避難訓練をしたと考えています。

いざ、原子力災害が起きたときは、30km圏内は一斉に避難するわけではなく、風向きなどで5km圏内、10km圏内と、段階的に避難していくこととなります。

12 岩間駅東大通り線沿線の開発について

【意見等】

岩間駅東大通り線ができたが、沿線には何もできていない。現時点で何か開発行為の計画はあるのか。

【回答】

岩間駅東大通り線は、岩間駅東側周辺の利活用が進むことを目指して整備しました。現在はアパートが数件建ちました。国道 355 号バイパスとの交差点付近に民間の商業施設が進出するという話がありましたが、課題もあり足踏み状態です。商業的な施設を誘致したいと思っていますが、他に話は聞きません。一つでもできると大きく変わるのですが、今は足踏み状態です。